

**実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究
実施方法等**

1. 実践校について

実践校名	(ならけんりつにかいどうこうとうがっこう) 奈良県立二階堂高等学校		
学科名	生徒数	学級数	
総合学科 (キャリアデザイン科)	552名	15	

2. 実践研究の対象

全校生徒対象で実施

3. 実践研究の実施経過

平成29年11月

平成29年度委託契約締結 (14日)

実行委員会の設置、実行委員会顧問の依頼、社会連携推進委員会外部委員の依頼
「産業社会と人間」での調査活動の実施 (第1学年)

総合的な学習の時間における調査研究の実施 (第2学年、第3学年)

平成29年12月

外部講師を招聘した研修会の実施 (第1学年、第2学年)

平成30年1月

地元企業と連携した商品開発の取組 (第3学年)

平成30年2月

課題研究発表会の実施 (全学年)

平成29年11月～平成30年3月

次年度の調査研究の計画立案及び諸調整

平成30年5月

平成30年度委託契約締結

「産業社会と人間」での調査活動の実施 (第1学年)

総合的な学習の時間における調査研究の実施 (第2学年、第3学年)

平成30年7月～8月

調査研究活動に関わる教員研修の実施

平成30年10月～11月

全国及び近畿高等学校総合学科教育研究大会における中間・最終発表会の広報活動

平成30年11月

中間発表会「二階堂フェスタ」の開催

平成31年2月

最終発表会「キャリアデザイン科発表会」の開催

4. 実践研究の実施体制

〔実行委員会〕

顧問(大学教員等)の指導・助言のもと、本校教員が研究計画等について立案する。

(顧問)

天理大学 副学長 人間学部 人間関係学科 生涯教育専攻 教授 岡田 龍樹
奈良女子大学 生活環境学部

情報衣環境学科長 生活情報通信科学コース長 教授 駒谷 昇一
奈良県立大学 地域創造学部 教授 高津 融男

帝塚山大学 文学部 文化創造学科 教授 河口 充勇

奈良佐保短期大学 未来生活科 ビジネスキャリアコース長 講師 戸田 信聡

〔社会連携推進委員会〕

天理市、天理市教育委員会及び地域社会の関係者によって組織し、本事業について実行委員会からの諮問に応じて答申するとともに、本事業の推進について協力する。

〔生徒実行委員会〕

実行委員会の指導のもと、研究に関わる各クラス間の調整を行うとともに、本事業に関わる行事の運営案を立案し、運営の中心となる。

5. 教育委員会等として取り組んだ内容

平成30年5月30日に担当指導主事が学校にうかがい、学校長、教頭、事務長及び担当教員等を交え、今年度の事業運営及び研究の方向性についての確認を行った。また、担当指導主事等が、10月には授業観察、11月には天理市駅前広場で行われた中間発表会に参加し、取組についての指導・助言等を行った。さらに、平成31年2月9日に実施された最終発表会を参観し、まとめの指導及び助言を行った。

平成31年2月4日には、県教育委員会の主催により、「奈良T I M E」学習研究発表会を開催した。その中で、県立二階堂高等学校の生徒が実践発表を行い、本研究において実践している学習活動の概要を県内各校の「奈良T I M E」担当教員に向けて発表した。参加者からは、二階堂高等学校の取組内容がよくわかったという感想や、地域の課題を扱う意義などがわかったなど、参加教員の満足度も非常に高い研修会となった。

実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラム（概要）

実践校名：奈良県立二階堂高等学校（総合学科）

概要

- 実社会における課題解決に取り組む実践的な課題研究を行うことを通して、主体的に学ぶことができる力を身に付けさせるとともに、地域社会の中で社会を構成する自立した主体となるための「社会人基礎力」を身に付けた生徒を育成する。

学習プログラムの目標

- 自立し、主体性をもって行動し、協働して地域・社会に参画することができる力を身に付けさせる。
- 地域社会の中で社会を構成する自立した主体となるための「社会人基礎力」を身に付けさせる。

学習プログラムの主な内容

◆ 生徒実行委員会

- I 2年生各学級の代表により生徒実行委員会を組織
- II 企業を参考とした組織構成でそれぞれの部署に分かれ活動
- III 各学級の取組の調整及び支援を実施
- IV 中間発表会「二階堂フェスタ」の企画・運営・広報活動
(平成30年11月10日(土) / 天理駅前広場コフフン)
- V 最終発表会「キャリアデザイン科発表会」の企画・運営・広報活動
(平成31年2月9日(土) / 天理市民会館)

◇ 【第1学年】 産業社会と人間での取組

- I インターンシップ（全員参加）
- II 天理市についての理解を深める調査
- III 中間発表会「二階堂フェスタ」における中間発表
- IV 中間発表会での発表内容の検証
- V 最終発表会「キャリアデザイン科発表会」における最終発表

◇ 【第2学年】 総合的な学習の時間「課題研究」での取組

- I 自ら設定した課題についてのフィールドワークの実施
- II フィールドワークで得たデータの分析と活性化に向けた提言の作成
- III 研究成果についての中間発表会「二階堂フェスタ」での発表
- IV 中間発表会での発表内容の検証
- V 研究成果についての最終発表会「キャリアデザイン科発表会」での発表

- └ ◇【第3学年】地元企業と連携した商品開発及び販売の取組
 - I 連携先企業の選定及び交渉
 - II 企業と連携した商品開発
 - III 中間発表会「二階堂フェスタ」における販売実践活動

学習プログラムの成果の概要

- 取組の方向性の明確化により、教科横断的に全校で取り組むことができた。
- 次年度の取組に向けた基礎的な力が身に付いた（第1学年）。
- 地域と関わる研究が、より生徒の研究意欲を高めることがわかった（第2学年）
- 地元企業と連携した取組が企業にとっても有益であることがわかった（第3学年）。